婦人新報

六月號

第貳百六拾參號目次

□英文
□通信報告
□平塚茅ヶ崎の三日間　みどり
□初めての羽ばたき　大橋房
□初旅の憶ひで　宮川靜枝
□病める會頭に從ひて　守屋東
□先づ誤謬を訂せよ　林歌子
□改造の機に際して　ガントレット恒子
□家を持たんとする若き人々に　淺田みか子
□婦人の見たる人種差別撤廢案　久布白落實
□聖靈の結ぶ實　矢島楫

基督教婦人矯風會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科
女醫 吉岡彌生
△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後
産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麴町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

□婦人新報定價（郵稅共）
一年分（前金）金壹圓也
半年分（前金）金五拾錢也
一ケ月分（前金）金九錢也
（郵券代用一割増）

□廣告料
一行（五號活字）金參拾錢也
一頁 金五圓也
半頁 金參圓也
四分ノ一頁 金貳圓也

振替口座東京三二四六九
編輯及事務所 婦人矯風會本部

大正八年六月九日印刷
大正八年六月十二日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 藤井孝
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地
婦人矯風會事務所
印刷所 東京京橋區銀座四丁目 福音印刷株式會社

N.o 263. June, 1919.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. The Fruits of the Holy Spirit...... Madam Kaji Yajima.
2. The Race Discrumination from the Woman's Stand point...... Mrs. O. Kubushiro.
3. To the Young People who are about to Make Home .... Mrs. Asada.
4. At the Time of the Social Reformation .... Mrs. T. Gauntlett.
5. Correct the Mistakes First .... Miss Uta Hayashi.
6. With the President in Sickness Travelling .... Miss A. Moriya.
7. A Trip in Siberia..................... Miss S. Miyagawa.
8. The First Fry .... Miss F. Ohashi.
9. Three Days in Hiratsuka & Chigasaki............................... Midori.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,

Tokyo, Japan.

聖靈の結ぶ實

會頭　矢島楫子

病後再び健康を與へられて感謝して居ります「聖靈の結ぶ實」といふことについて申て見たいとおもひます、一體聖靈の結ぶ實といふものは、普通木の實のやうに、これが實ですと申すやうなわけには參りませんが、聖靈の結ぶ實を實見し味ふたものには其尊さとうるはしさとをたゝへないではをられません。

私共のやうに東洋の教育を受けて成長ち、物質以外の力には深き興味もまた感銘も持たなかつた時代に、此世に自分の心に何か物足りない思で暮して居りました時、神を知つたといふことは實に有難いことであつたと思ひます。年永い生涯に於て深く經驗いたしましたことは、靜かな心で物を見るといふことで御座います。何事によらず、心穩かに注意して親切に見究て行きますと、成程と合點のいくもので御座います。

口其實は數多し

此世の森羅萬象、それが或は人であつても、また苗であつても、實であつても、其成長するところが、水、山、陸の差はあるにしても、千變萬化其實を結ぶ事は明かでありながら、實の結ばるゝ時を見ることは決して急激に解るものではありません。

折にふれ時に際して考へて見ませば、過去に於て苦難であつたとか、失敗したとかいふことが、實は今日に於て實を見る爲の準備であつたかといふやうに思はれるので御座います。只人といふものについて考へて見ても、實に靈によつて生れ出たものであると思ひます。其住ふ土地の風俗人情の大きな自然は知らぬ間に感化を與へ、色々の人物が出て參るので御座います。それ等の間に醫者あり、勞働者あり、藝術家あり、實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

業家もあれば、學者もある、皆各々其表はれる處は多様で御座います、然し是等は皆靈の芽から生え出たものであつて其實で御座います。何れが尊いとも亦た低いとも申せるものではありません、聖靈の結ぶ實は、聖書にも仁愛、喜樂、平和、忍耐、慈悲、良善、忠信温柔、撙節と誌るされてあります。

口生を終る其時!

傳道といふたからそれで萬事といふ事は出來ません教育丈でも足りません、凡ての方面に足る丈の事が出來て行かなければならないので御座います。此大きな世界、社會を組織して行く人類は互に援け合ふて其大目的である、聖靈の實を結ぶために働かなければならないのであると思ひます。それが私共個人の務でありまする喜びであります、然し實を見得の時は生を終る其時でありませう。靈によつて蒔れたものが實を結ぶのは當然の事であります、必ず結ぶべきです、小さい多くの實について私は月々考へゐる處を書て見たいと思ひます。

口聖靈によりて蒔かれたる實

今年の大會に於て傳道部が道なき如くに行手を塞がれて苦しみあがきました、が、忽ち開けて喜びに滿ち希望に溢れる機會に出遇ひました。培かひ養ふ母心が傳道部であることが明確と解つたのは、此上もない感謝であります。とかく急ぐ心でありますが決して早り立つてはならぬと思ひます、必要に應じて事々に先づ靜かに祈つて考へる事が大切です、婦人矯風會の如きものも、若し其初めに於て聖靈によつてまかれたる實でなかつたならば、本年の大會の如き喜びは見る事が出來なかつたと思ます。また今日まで日本の婦人矯風會の三十有餘年の歴史を顧みて見ましても、聖靈の結べる實から芽さしたものであつたといふ事を知る事が出來ます、若もそうでなかつたらば、既に立派に枯れて今頃は其跡もありますまい。永い其間には曲折様々變化はありましたが一つも無駄にならなかつたのです。

此度の病は重かつた事を自覺して居ります、然し我が心の内に召さるゝ事はないと思ひました、といふよりも未だ此世になす可き仕事が與へられて居つて天に行く喜びのお許しが「未だ」といふ感じをひし〳〵と味ひました、私の性質は誠に敏してくないといふことを承知して居ります、敏してくない自分には年月を神様はお與へ下さるといふ事も亦信じて居ります、私は勇ましく働かなければなりません。聖靈の結ぶ實を見る其日まで、愛姉等と御一緒に!

婦人の見たる人種差別撤廢案

幹事　久布白落實

口日本は最適人者

此度び日本が巴里に開かれし國際聯盟の大會議に列席すると云ふ事は、我國開闢以來の重大事件の一つとして數へねばなりませぬ、極東の一島國として、殆んど世界と何等の交渉なく過せし數十世紀の過去の歴史、門戸を閉ざして全くの別世界として暮らせし徳川時代三百年、此等の時勢より出でて萬國の間に認められ僅々五十年の日月の間に、終に世界の五大國の内に其席を得、世界を統一せんとする大會議に列する事は、全く國家として新らしき一歩を辿りし事で御座います、此時に當りアリアンに非らずチユートンに非らず、世界の有色人種の代表として出席する日本代員が、人種差別撤廢案を提げて其主張となす事は、最も至極の事と申さねばなりませぬ。白人に非ず黒人に非ず黄色人種であり、且つは、東洋西洋兩文明の接觸地なる國家として此問題を我國の世界に對する使命として提出する事は當然斯く有る可き事と思ひます、且つ又今日の世界を見渡して、日本以上に此れを爲すに適せる地位に有る國家を見出す事は出事ませぬ。

口何故に失敗せしか

然るに之の問題が巴里の會議に於ける敢なき失敗は何故でせう、言語の不自由等も有りませうが、私共は飜つて愼重に將來の國家の方針の爲めに考へて見なければなりませぬ、私は一婦人として我國の將來の爲

めに自ら考ふる處を記して江湖の教を乞ひ度いと思ひます。

□國民的後援の缺乏

此度の失敗に際して明白と讀まるゝ事は、我國の提出案が、國民的理解と後援を缺いたと云ふ事です、我が國の使節が巴里に於ける四苦八苦の奔走と不樣とを非難攻撃する前に、私共は國民として此の人々に對し、上下擧つて此の問題を理解し、上下擧つて、之れが貫徹の爲めに盡す可きで有りますまいか、ウイルソン氏が多くの非難攻撃の内にも兎も角國際聯盟の大舞臺に、其腕を振ふ所以の物は、自身は國家の目的、國民の理想を代表する者なり、我が後ろには米國何百萬の大衆の祈と、願ひと希望を擔ふと云ふ確信が有るからです、ウイルソンは唯眞の代表者たるが故に力ありと云ふ事は、今日萬人の認むる處です、相撲の勝負すら贔負なしでは出來ませぬ、この世界的大勝負に出でんとする使節に對し、其携へ行く提案に國民が理解なく、後援せざる時は其力は半減せられ百分減ぜしは當然です、私共は國民擧つて國家の大方針を知り、かつ理解する必要ある事を痛切に此度の失敗に依つて學ばねばなりませぬ。

□未解決の勞働問題

北米にも、カナダにも、濠州にもあれ程の廣大な土地と稀薄な人口を有しながら、門戸を閉ざして我が國の移民勞働者を防ぐと云ふ裏面には、當方にも考へねばならぬ問題が横つて居る事を悟らねばなりませぬ、即ち勞働問題の解決です、白人勞働者等は、過去半世紀に亘つて、資本家階級なるものに對して、生き死にの苦闘を繼續して來ました、少しでも彼方に行つて勞働に從事した人々は、日本等で理解し得ない勞働者の切迫した情態を目撃する事が出來ます。勞働と疾病、饑飢、死亡の間は實に紙一重です、丈夫な人は働き、相當の賃銀を得ますが病めば誰一人省みるものは有りませぬ。斯る内に苦しみ抜いた人々は遂ひに自己保存の爲めに團結を造る事を學びました、今日米國、加奈多、濠州何處として國家的勞働者の大團結を持たない

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ものは有りませぬ。然るに我が國では到つて幼稚な勞働情態で、彼地に移住して後ちも何等此等の國家的大團結に對して理解する處がありませぬ、ストライキでも有れば拔けがけの功名に賃錢を貪つたりするので、彼地の勞働者仲間から蛇蝎視せらるゝに到つた譯です、若し今後我が國の國家の大勞働組合が出來、我が國の勞働者、彼地の勞働者相互の團結に於て理解の出來る曉には、移民問題の如き、案外容易なる解決を見る事が出來ませう、勞働問題に對して實に我國は町村の隅々までも覺醒の必要を悟らねばなりませぬ。

□異人種に對する僻見

近時朝鮮の暴動、支那學生の騷擾と好ましからぬ事件を耳にしますが、種々誤解も有ませうが其根本に於て我が國民が島國根生を脫せぬと云ふ事が最大の原因を爲して居るのではないかと思ひます、日清戰爭日露戰爭に於て最も鼓吹せられたものは敵愾心です、全國民を指導せし過去數十年間の國家的感情は、實に敵愾心を除いて他に有りませぬ、もと〳〵島國根生に捕はれ居る國民を、半世紀の間に二回までも國家的敵愾心を燃し立てゝそれこそ帝國の津々浦々までもこの感情に依つて親を捧げ子を捧ぐる大犧牲を拂はせし歷史を思ふ時、私共は今日の日本國民が異人種に對して、僻見を有する事は止むを得ぬとも考へます、然し今後の世界は島國根生では立ちませぬ。特に此度日本の提出せし人種差別撤廢案の如き、根本よりこの感情を拭ひ去つてかゝらなければ、之れを主張する人に渾身の勇氣の湧く理由は有りませぬ、私共は異人種に對する國民的感情の教育に大なる缺陷を感ずるものです。

□國內に有る奴隷婦人

我が使節が國家を代表して、世界と交渉を重ぬる時無言の內に感ずる引目は、婦人問題に有りませう、特に全世界に特產として出す日本醜業婦、國內に公衆性慾の奴隷たる公娼、酌婦等の婦人、此等の問題に關して誰れも明白に云々する人は有りませぬが、人種差別撤廢の如き、堂々たる人道問題を提出して、世界の人心を教導せんとする時に、國內、國外に於ける同性婦人の行爲境遇は、決して其意を强くするものでは有りませぬ、人種差別の撤廢を他國に强ふる前、何故貴下は自國に有る事實上の奴隷を解放せざるやと反問せ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らるゝ時必らず勇奮突進の力は其一歩を殺がれます。公娼の全廢、婦人の身賣禁止、海外醜業婦取締りを呼ぶ事は、徒らなる事では有りませぬ。

□子供の賣買

近來耳にする事で、最も心を痛ましむる事は子供の賣買です、勿論金を借りて年期に入れると云ふ名目ですが、一ヶ月前には僅か十歳未滿の小娘を七年の年期で酌婦に住み込ませた例が有ります、我が國の小女は東西を辨へざる時に、己に其最も信頼する親より純潔なる生涯を送る境遇を奪はれて仕舞ひます、斯る例は枚擧に暇有らずです、既に警官が來つて、之の場合助けてよきや否を尋ねに見えたやうな次第です、子供より其正しき生涯を送る機會を奪ひ去ると云ふは何たる殘忍な事でせう、然かもそれが其保護者の手に依つてせらるゝ到つては實に言語道斷です、私共は是非之れに對して法律上の制裁を得ねばなりませぬ、人種差別案を論ずるに當つて國民は我が内なる第二の國民たる小女等に對し、この不義を正し、其手を洗はねばなりませぬ。

□國民にキリストの理想を與へよ

人種差別撤廢なる事は、其根本をキリストに發してゐます、宇宙の神を人類の父とし、我等同胞なりと云ふ實感に活きた時、始めて眞の底から人種無差別といふ偉大なる考へが湧き出でゝ來ます、この提案が我が國民の國家的理想となる時は、而して今後幾千年の歳月を用ひても全世界に此の提案を具體的に採用せしめんと云ふ事が、國民の理想となる時は、我が國は實に世界に對する使命を果すに近きかと思ひます。私共は熟々考ふれば考ふる程、國民にキリストの信念と、キリストの理想を與ふるの必要を感じます、又以上列記せる其要點の總てが先づキリストを悟るに依つて、始めて實現せられる事を思ひます、國民をして國家の理想を理解しかつ後援せしむること、島國根性を脱する事、勞働問題を解決する事、國内の奴隷を解放する事、小供より正しく活き得る其當然の權利を奪はざる事、凡べて此等の重大なる問題を國民今後の任務として、努力し終ひに全世界人種無差別の一大眞理を世界聯盟の根本義と爲すの日の一日も遲からんことを祈りて止まぬものです。

大正八年五月廿三日稿

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家を持たんとする若き人々に

淺田みか子

◉徳　育

□世話を燒かせる結果は

大きな子供が小さい子供に、よく世話を燒かせるものですが、これは燒かせらるゝ方の子供よりも、燒かせる方の子供の性質が、實によくないと思ひます。何となれば小さきものを嘲弄つて、小さきものを困らせ、其困るのを見て自らが愉快とするといふことは小さきものに對する愛護の念がないことを證するもので、實に殘忍な性質の芽生えであると思ひます。

用もない花を取つたり、木の葉を毟つたり、害のない蟲を殺したり、鳥の玉子を取つたり、犬や猫を虐めたりするといふことも、同じ心から起り、遂には牛馬などをも虐使するやうになり、甚しきに至つては、人を傷けたり殺したりすることをも、何とも思はぬやうになります、實に恐るべきことで御座います。

□體罰は効果のないもの

體罰を加へるといふことは、非常に子供を辱めることになります。叱られたよりも多く反抗心を起させるもので、性質の劇しい子供になりますと、何も解らなくなり、狂氣の如くに抵抗して來るもので御座います。これは決してよい結果がないばかりでなく、非常に害を殘します。其證據には一度の體罰に懲りず、幾度も繰返すやうになり。遂には親の手に合はぬといふものになつて仕舞ひます。それよりも子供の自尊心を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

成長せしめて、心に惡いと思ふこと、禁ぜられたることとはなさぬといふやうに導きたいものです、もし間違ひをなした時は、子供の心が平和な時に、よく温情を以て諭すならば、効果があると思ひます、體罰を加へて子供を侮辱することは、よくないこと丶と思ひます。

□親は子を偏愛せぬこと

親が子供等に對し偏頗な愛を注ぎ、不公平な處置をする時は、子供等の心に、非常な反感を持つもので御座います。從つて親の命令を奉ぜず、兄弟仲まで惡しくなるもので御座いますから、親たるものは、よく自ら戒めねばなりませぬ。併し長じたるものよりも幼きものを、より多く愛するが如く見えることは、これは弱きものなるが故に、より多く助けを要する故であるから、長じたるものは弟妹を傷はらねばならぬことをよく言ひきかせておく時は、反感は起らぬものと存じます。

□臆病の癖を付けぬやうに

お伽話をする時にも、又家人同志で雜談をする時にも、子供が恐怖がるだらうと思ふやうな話をせぬやうに注意せねばなりませぬ。女中等にも平生恐怖いものなどの話は子供等にはせぬやうに、注意して置くべきで御座います。若し子供等が妖怪が出るとか、雷がお臍を取るとかいふやうな話を外から聞いて來た時によく其理由を說明してやつて、妖怪が出るなどと思ふのは、其人の心に何か咎めることがあつて、神經を起すからである、此世に妖怪などいふものはないものといふことや、又雷は電氣といふもので、電燈と同じものである、其うちの陽と陰との性質の異なつた電氣が、摩擦れあふ時に、あの音を發するもので、決して獸でも何でもない。雷鳴に驚いて、獸物などが其穴から飛び出ることもあるから、雷は獸物だなど俗にいふこともあるのである。併し雷鳴の時は戸外へ出ぬ方がよい、その理由は、電氣といふものは、金屬や、樹木や、人體にも感じ易いからである。雷鳴の時は大木の下に居らぬやうにせねばならぬ。などといふことを、說き聞かせる時は、子供等は無暗に恐怖がるものでは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御座いません。

かうして幼いうちから、譯もなく恐怖がるものに一々說明を與へておくと、子供等の心に恐怖といふ芽が萌しませんから、臆病といふ木が生えなくなります。

ある家のお子さん達は、かういふ風に育てられましたから六人とも一人殘らず恐怖いといふことを知らぬやうで、五六歲位でも暗い室へでも獨りで行き、夜中暗い庭へ出ることなども、何とも思はぬといふ事で御座います。

□家具は玩弄させぬやうに

兎角子供は、與へておいた玩具には飽きて、家具を弄びたがるもので御座います。夕方雨戸を締める時に、心張棒が見えなくなつたり、裁縫に坐つて、尺度、鋏などを探すことが御座います。子供用のものは何でも買つて與へて置いて、家具は決して玩弄させぬやうに致したいものです。又用事のために據なく使つた時は、必ず元の處へ返しておくといふ習慣を作らせなければなりませぬ。これは物事を几帳面にする性質を造ることにもなります。

□子供は神から預つたもの

昔は親が子供を自由にしたもので、生殺與奪の權をさへ持つて居りました。併し今日の開けた國民は言ひます、子供は神から預かつたもので、其養育方を托されたものでありますと。それ故に子供は大切にして、親たるものは全力を盡して育てねば申譯がありませぬ。親本位に育てゝはなりませぬ。子供本位にしなければなりません。即ち子供の欲せぬものも親が好むからといつて强いたり、子供の性格に合はぬものも親の都合がよいといつて爲さしめたりするのは、間違つて居ます。そして親は子供の人格を認めてやつて、輕蔑したり侮辱したり致さないやうに、注意致したいものです。

□金錢に淡白に

小學校時代の子供に小遣錢を與ふるの可否に付いて議論がありますが、適當に遣ふことを敎へて、それに從ふ子供ならば金を持たせてもよいと思ひます。

ある家のお子さんが筆墨紙文房具等を、粗末にして困りました時、每月豫算を立てゝ小遣錢を渡し、此範圍內で遣ふことに致させ、殘つたものは貯金を致させました。だん／＼積るのが面白くなりまして、小遣錢を節約するやうになり、從つて文房具を大事にするや

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うになつたと申します。
これは性質のよい子供で濫費を致さなかつたので宜しう御座いますが、日曜學校への献金として、持たせて出す僅かの金を、お菓子を買つて仕舞つたといふ子供も御座います。

また、あまり金錢を愛することを教ふるは、心を卑劣に致します。物品を見れば必ず其代價を問ふて見たがつたり、人に施こす金を惜しいと思つたり致します、どうか金錢に淡白にして、出すべきものは惜しまず、自らは節して、人には施すといふやうに教へたいと思ひます。

□あまり小言をいはぬやうに

子供を心配するの餘り、所謂箸の上げ下ろしにまで、小言をいふといふことは、害あつて益なきことで御座います、俗にいふ耳にたこが出來て聞こえなくなります。即ち感覺が鈍くなつて、折角の訓戒も感ぜぬやうになるのみか。またかと厭ふやうになり、親の命令を輕ろしめ、親のいふことを聞かなくなり、手にあまるものとなつて、遂には政府の厄介になるものとなります。

□秘密に事をしたり、物を隱したりするな

「これはお前にばかりあげるから、兄さんには隱くしてお置きなさい」とか『此事は秘密にしなければ、いけませんよ』とかいふことは、子供に僞りを敎へるやうなものです。こんなことから子供が、虚言を吐いたり不正の行爲を人目を忍んでするやうになります。これは最も親の注意を要すべきことで御座います。

子供等が遊んで居る時に、不正なことをしても勝たうとする子供がありますが、これは甚だ卑しむべきことゝ存じます。『我は非にして勝たんよりも寧ろ是にして破れん』といふ公正な立派な心を植ゑ付けさせるには、たとへどんな方便のためなりとも、人に物を隱したり、秘密を行つたりするやうなことを教へてはなりません、どこまでも公明正大俯仰天地に恥ぢずといふ思ひと行ひとを小さい時から養成させたいと思ひます。

□兒童の前で僞りのお世辭をいふな

子供の居る前でお客に對して體裁を作り、心にもあらぬお世辭を言つたり、誇張をして話したり、子供を惡戯者など侮つたり、いふことを聞かなくて困りますといつたり、或は人の惡評をしたりする時は、子供をして是等の惡徳を習はしむるか或は親を輕蔑するやうになるか、何づれの道決して良い印象を子供に與へぬものと存じます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

改造の期に際して

青年部長　ガントレット恒子

一

數年の間世界の人心を戰慄せしめた殺戮と破壞との暗夜は明けて、今は待ちに待つた建設と改造との朝となりました。而かも此の改造は獨り砲火の犧牲になつた物と所とにのみ加へられるのではありません。世界は此の戰爭の終末を期として、あらゆる舊惡を洗ひ淨めて、全く新たに生れ更らうとしてゐます。而して此の改造の大事業は到底一朝一夕で完成せらるべきものではなく、新時代の活舞臺に立つべき青年の持久的努力を待つて初めて充分な効果を擧げる事が出來るのですから、現代青年男女の責任は實に重且つ大なりといふべきであります。

されば現代の空氣を呼吸した青年は確乎たる自覺の上に立つて、自分を圍繞する社會が如何なるものであるか、その社會と自分とは如何なる關係にあるか、社會は自分に對して如何なる要求をなしつゝあるか、又自分は如何なる期待に價するものであるかといふ事を研究し、自分を生んで育てゝ庇護してくれる此の社會に對して應分の奉仕をなすべきは當然の事だと思ひます。

二

從來の婦人の仕事は家庭の內にのみ限られて居りました。大正の今日に於いてさへ、多くの有力な人々が、婦人の家庭外に出んとする傾向を危險視し、それに意地惡い妨害を加へようとしてゐます。內心燃えるやうな反抗の氣に充ちながら、執拗な因襲のなはめにきり〳〵と縛られた青年婦人等が、何時終るとも知れぬ過渡期の苦惱をつぶやくのも無理のない事です。しかし此の問題は獨り我が國にのみ限られたものではありません。婦人を非常に尊重する自由のアメリカに於いてさへ烈しく論議せられた——そして又論議せられつゝある問題で、かの矯風會の開祖ウキラード女史が之れに對する駁論を書いてゐる事によつても、此の苦惱が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獨り我々日本婦人のものでないといふ事が分ります。

ある論者は、婦人の多方面に於ける活動は一ッの河流を幾つもの運河に分けるやうなもので、かんじんな本流はその爲に枯渇してしまふといふやうな事を申して居ります、しかし又私共はナイル河のある事を忘れてはなりません。埃及の地は此の河の定期の洪水が年毎に殘してゆく沃土によつて潤澤にせられるのであります。而かも又玆に面白い事實は、此の洪水は決してナイル河自身の爲ではなく、他を潤ほし他を富ませる爲に欠くべからざるものなのに、ナイル河自身の水量は此の洪水によつて些の變動も受けないといふ事であります。此の故に私共婦人は、あらゆる善事に手を借して、多分面な活動をせねばならない――これがウキラード女史の議論の要點です。

三

出るべきか、止るべきか？　これは現代の青年女子の最大な苦惱の一ッでせう。一ッは力を要し、苦しみを要し、危險に面接してゐるやうに見えます。他の途は樂であり、安全であり、又美しくあるやうに思はれます。そして多くの愛するものは止れよと彼女の後髮をひきます。婦人の職業をもつ事は男子の就職難をます／＼激烈にすると憂ふる人があります。しかし社會はそれ程仕事の種に盡きてゐるでせうか。いゑ／＼、改造の事業はまだその端緒についたばかりです。社會は婦人の手を要してゐます。目を開いて見れば、婦人の手によつてのみ爲され得べき改造の事業が到る所に見出されます。害惡に塗りつぶされた、病毒に充ちた世を眞白に洗ひ淨めて、其處に清純な美を生れ出でさせるものは、白き婦人の手であり、紅き女性のハートであると思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先づ誤謬を訂正せよ

大阪支部長　林　歌子

西比利亞視察の感想に就て、禿筆を弄せんと考へて居ましたが、前號に於て既に宮川姉の細密なる報告もあり、且つは廓清紙上私の演說筆記が前月號と本月號とに掲載されて居る事故、重複を避ける爲め詳細はそれに讓るとして、私は今茲に最近に起つた出來事に就て感を述べて見たいと思ひます。

□女學生の演說問題となる

最近、大阪の新聞紙上に於て、奇異なる問題の報道に接しました、それは下ノ關梅光女學院卒業生某が袂別校友會席上にて、公娼全廢を叫び、且つは卒業生廣津某が其の卒業論文に於て、婦人參政權を絕叫せりとて、山口縣警察は、即時刑事を派して之が調査並に校氏に談ずる所あり、爲に同校は勿論之が關係者は迷惑を蒙り居れりとの記事を見て、私は全く奇異の感を抱かずには居られませんでした、何がために刑事を送つて警戒を加ふる必要があるのでせうか、私は當局の意の存する所を解するに苦しむものであります。今茲に其の誤謬訂正の爲以下愚感を披瀝する次第であります。

□社會眼を開かしめよ

私は近代の女子教育の主眼が不徹底極まる良妻賢母主義に偏するが爲に却つて將來を囑望すべき有爲の婦人にして若木の内より其芽を摘み取られ、盲目を强ゐらるゝの結果、全く社會眼を閉鎖され、女學生の如きは僅かに寄宿舍の節穴より社會の形勢を隙窺きするに過ぎず、甚だしきは其の隙窺きすらも許されずして、あたら社會の一半を占むる婦女子を盲に造り上げ、斯くして又一方よりは國民改造社會改造よと叫ぶ事は何といふ矛盾でありませうか。

□當局の覺醒を望む

私は數日以前、梅光女學院生徒某に邂逅した際に、此問題に就て其生徒に尋ねました、所が其生徒の答へるには「私共は新らしいとも何とも思つて居ないのに世の中は何といふ古い事でせうオホ……」と笑はれました、然り世の中は何といふ舊い事でありませう、女學校卒業と言へば既に女子一人前の素養を收得したる時期であります、之から社會に突進する其第一歩の門出であります、さすれば其社會とはどんな所か充分知つて置く必要がありはしまいか、手飼の小鳥が小さい籠の天地として恐いもの知らずに順潮の生を享樂したものが、一朝籠外に放たるるや廣い社會を知らざるが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

為に、遂に飢えたる猛鳥野獸の毒牙に斃るゝは當然な事であります、是と同樣に世の中には蛇も居なければ猛獸も居ない、如何なる彝あり如何なる世を毒する分子の漫延するとも知らずに盲めつぽうに放たれた小鳥は遂に如何なる結果に到達するでありませうか。

□先づ社會を知らしめよ

上述の理由から押して女學校卒業の頃ともならば社會問題等には大に觸れしむべき必要があります、社會は目下デモクラシーが叫ばるゝさか、婦人参政權、公娼全廢、社會改造の聲等卓越せる識見等は有せずとも普通の智識位は、大に授けて置く必要があります。斯くして我等婦人が社會に處する責務は那邊にあるかを決斷せしむべきであります、婦人が先づ斯かる自覺に立てこそ社會の進展は保證され、一等國の期待に背戻せざる自負が胚胎する譯であります、然るに只女子さへ言へば家庭育兒、所謂良妻賢母が至上の目的にして社會の事等顧慮するは之れ大なる誤謬の如き教育を強ゐらるゝ現今の女學生は誠に禍なる哉であります、

□活ける實驗

某夫人は私に語つて『私は今迄只一つの疑問を抱いて居りました、それは女は世の中の事など少しも關係せず、只家庭の事と子供の事のみに專心盡瘁して良子女を作つて社會に貢献するのが女の唯一の責務であるか、或は世の中の事にも熱心に心を注ぐのが女子の責務であらふかと考へて此疑問の解決に苦しんで居りました、所が年月を重ね子女は成人し、今は子供を海外にも送り、或は社會に獨立せしむべき時となつて私の考は自らに解決がつきました、それは、若し此黴菌の蔓れる不純極まる社會に折角良く育てた子供を出しても、社會は之を毒し傷けて數十年の親の苦勞も水泡に歸してしまはれると、斯う考へた時に私は初めて、婦人は單に閨房の人のみならず、社會矯風廓清等の爲に極力働いて先づ社會を淨むべきであると言ふ事に解決が附きました』と、語られ、そして此夫人が矯風會の爲全心全力を傾倒して戰つて居られるのを目擊して私は此の活ける實驗に由て非常に私の日頃の感じを整調されました、

□改造の警鐘を聞く

現今の婦人は徒らに、良妻賢母の名を擔ひて深閨に蟄居すべき時期ではありません、殊に近代の如く人文進化の警鐘と共に世界改造は叫ばれ、形骸の改造に非ずして眞に徹底したる精神改造の總合を要求されつゝある時期に於て、我矯風會は先づ之が先決問題として年來の公娼全廢に層一層努力貫徹を期し、海外醜業婦取締、一夫一婦制度刑法の改正等、最後の勝利を心に期して奮鬪を繼續いたして居る次第であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

旅にて病める會頭に從ひて

守屋東

伊勢崎にはかねてから數人の會員はあつたのですけれど、組織されて居ませんでした。丁度大久保乙羽姉山川姉を訪問されたのを機にして支部を組織するやうにお勸めになりました、敎會の婦人會にも大久保姉は會の主義、また母として會の必要、敎會員としてまた矯風會の一つ結びに入る事の必要を同姉獨特の熱心を以て語られたのです、其結果として諸姉は結束して起つ事に相談が纏り發會式を擧ぐる運びに至つたのです。

何でも充分に培くまれ育てられて居つたものが芽ざすときは勢よくスラ〳〵と參るものです、伊勢崎も其一つでせう。

□新支部設立

五月十二日の晩敎會堂で發會式擧行、大竹姉の司會、矢內姉の聖書朗讀、近澤姉の祈禱の後土地の實科女學校長加藤氏及掛合牧師、廓淸會を代表して救世軍屯田の長紡方氏の祝詞等がありました、矢島會頭が話さるゝ前に私は矯風會の起原及我國の運動の方針等についてお話いたしました。會頭は淳々と會員となつたものについての心得をお話になりました、一同感謝のうちに閉會したのが十時過ぎでした、來會者は七十名餘、婦人が勿論多數でした。

□病を推して出席

此夜は下植木の矢野秀吉氏宅にお世話になりまし

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。近澤姉宅の隣家、新たらしいお二階に客となつて心地よく眠りました、翌十三日先生は發熱なさいました。私の手觸でも八度以上のやうに思ひました。午後町の婦人會主催の講演會がある事になつてゐますので、先生はそれまで床に居て休むと仰しやいました。時間にお迎をうけました。隨分お苦しそうでした。然し約束だから行くと仰しやつてお仕度をなさるのもお氣の毒なやうでした。會場の小學校に入りました。廣い校舍を廻り〳〵て講堂に入りました。實科女學校の生徒と町の婦人方でした。先生は「苦しいから一言述べて私は先に歸ります。あとはあなたが私の分も話して下さい、そして停車場で遇ひませう」と仰しやつて御話の後お歸りになりました。お苦しかつたでせうがお聲は常のやうにはつきりしてゐました。でも御樣子は實にお苦しさうでした。私は責任を盡す事に心奪はれて居ましたのでお送りもせず、すぐ話を初めました、そして汽車の時間に間に合ふやうに停車場に急ぎました、前橋支部訪問の爲にです。

□車中寫して通ず

先生は近澤家にお歸りになるとすつかりがつかりなさつて、「今日はとても行かれないから守屋さんに先にゆくやうに云ふて下さい、そして高崎であひませう」と近澤御夫妻が停車場に來て下さつてのお言傳でした、「熱は八度七八分、隨分お苦しさうです、如何したらいゝでせう」と御夫婦は非常な御心配です、私は歸るに歸られず、行かねばならないので皆樣にお願して車中に入りました。然し先生は藤井さんより外にはお診せにならない事を知つて居ますから、車中で手紙を認めました、そして東京へ行く人に御依賴しやうと考へました。幸ひ同車の一紳士が東京へ歸られるとの事で事情を述べてお願しました、辯護士宮澤武七といふ名刺を出して「私は斯ういふ者です、たしかに此手紙は出しませう、また電話もお掛けしませう」と御親切に仰つしやつて下さいました。私は前橋で降りました。

□祈禱團の設立

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

松宮、宮内、柴田の諸姉、徳江氏に迎へられました、宮内老婦人は私一人で先生がお出にならぬのでがつかりしてお出になりました、御尤もな事と思ました、松宮姉のお宅で座につきますと、再び宮内老婦人は「先生は來なさらないかね、つまらないねー」と心からがつかりなさいました。再び御尤もと存じました。皆さんは先生の事を御案じ下さいまして色々御相談下さいました。早速本部に電話して藤井さんの來診を乞ひました。

此夜數人の姉妹方と集り、會頭の爲に特に祈り、また次の日の集會の爲に祈りました。本年の大會に上州から一人も代員が出られませんでしたから、私は大會の模様をお話し特に祈禱園の設けられた事を述べました、其結果前橋支部も此夜を記念して祈禱園を結ぶ事に相談がなりました。小さい集會ながら心のこもつた集りでした。宮内老婦人は「私の生きて居る内にぜひ今一度大會を前橋で開きたい」と申されました。

口靜かな三山

室には先生にといふてグッドウード姉から送られた花が滿ちて居ります、私一人旅に病む先生の上を思ふて寂しく眠りました、十四日朝は共愛女學校の生徒さん達にお話しいたしました、同志社女學校の青年部の會長だつた福知さんが此校の先生でした。うれしくお目にかゝりました、利根川の土手までお送り頂て私は靜かに三山の偉大を味ひつゝ宿に歸りました。電話を伊勢崎にかけて先生の御容體を伺ひました。藤井さんが御來診下さつて居ますから御安心下さいといふ事でした、先安心して午後の集會に出ました。貳百五十余の集會がありました。先生がお話しになるからかく大勢お出になつたのにと思ひますとお氣の毒でたまりませんでした。高崎、藤岡の支部からもお見えになつてゐました。此度の旅行は上州の各支部巡廻といふのでしたけれども、先生が病氣におなりになりましたので如何も困つた事だとおもつてゐました、處が養蠶地だけに今は凡ての集會が困難だといふので秋まで巡廻を延期して頂きたいといふ事でした、この事は實に此場合うれしいことでした。早速前橋の皆様にお別れして伊勢崎に歸りました。藤井姉の御歸京の後でした。

口一週間目に歸京

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人々は先生の御容體を案じて昨晩は一睡もしませんでしたと。看護婦さんがお願して御座いました。私はおそる〳〵先生の室に入りました、隨分弱つていらつしやいました、此の時までに廿回以上の下痢、お熱も高いのです、「お苦しう御座いますか」「隨分苦しいですよ」私は體温をとつて頂きたいとお願しました。三十九度三分ありました。支部の方々は非常な御心配でおそくまで止つてゐて下さいました。近澤さんの皆樣は醫者でもない私が來たのでも安心したと仰つしやいました。御尤もです、夜ふけて居ましたが本部へ今夜の合容體を電話で報告いたしました、此夜も何等醫術にも經驗のないものが只おど〳〵してすごしました。次の日東京から久布白さんが要件を帶びて見えました。大關看護婦會から熟練した看護婦を派遣して下さいました。漸く心安い思になりました。先生の御容體は素手の私共には解りませんが、非常にお勞れになつたやうでした。六日目に幸ひ御多忙の藤井さんが再び御來診下さいましたので一同は實にうれしく思ひました。御歸京になつても差支ないといふ診斷をうけまして十九日に藤井女醫看護婦お付き添ひにて無事にかへりました。普賢寺先生伊藤東京部會長其他の姉妹に迎へられて歸る。

○誠意の美しさ

實に山川老姉を初め伊勢崎の諸兄姉の御親切と御同情とは感謝にあまりあります、前橋支部からは毎日代る〳〵お見舞にお見え下さいました、東京の松宮姉の如きは、上州で先生が發病なさつた事を御自分の責任のやうに御心配下さいまして、各處に御手紙をお出しになり、先生の御看護に粗漏のないやうにと、行き屆いた御注意を下さいました。私共は實に老た先生にお賴りしてゐます、實にお賴りして居ます。斯うまでもと思ふと先生が常から會頭の重任を辭したいと仰つしやる事が今更のやうに感じられました。せめては小さい力でも精かぎり此大きな社會奉仕に身も靈もなげだしてお出になる先生の心にわけ入つて、偉大な力に合したいとおもひました。

矢島先生は御快復なさいました、然しやつぱりお弱りになりました。床を離れて活動なさる事は今暫く私共は心からお止めしなければならないと思ます、先生もよく其邊は御承知です、大事な寶の如く其身を守つて御用の爲に盡したいと仰つしやつてゐます、全國の諸姉！先生の上に神の祝福をお祈り下さいませ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初旅の憶ひで

西伯利視察員お伴の記

宮川しづえ

さあ出發といふ七日の朝になつても私の旅仕度は未だ整つてゐなかつた。襦袢に綿を入れるやら頭巾を造るやら不足の物を買ひに行くやらしなければならなかつた。けれ共、夕方の出發には大丈夫間に合ふといふ自信はあつた。

其日は冬の日の暮れ易きに似ず晝の間が割合に永いやうに思はれた。晩の食卓にはいつもゐない人々の顔も見られた。私の好きな豆腐の味噌汁は卓を圍む七八人の體を温め心をぬくめるやうに思はれた。おカシラ附の燒肴は、私の好物とあつてほんのりと鹽を吹いたのが並べられてゐた、私は味のいゝ日本の魚を味ふのも、此が最後かもわからないと思つたりした。みんなはさし迫つて來る「時」を無理矢理にでも引き延したいといふやうにいろ〳〵の話をした。其間にも「時の翁」の歩みは若者のそれの如くに健な足取を止めなかつた。

發車時刻は七時だから六時頃から家を出なければならない。私がまづ矢島先生の所に御挨拶に行つた時、「先生行つてまゐります」といふ誠に短い言葉しか私の口からは出なかつた。胸に充つる多くの事は言葉で現すには餘りに微妙である。複雜である。要するに言葉は私達が最も微妙な思想や感情を表さうとする時、最も深い悲哀を與へるものゝ一つに屬する。

矢島先生は、微笑をかすかに堪へながら玄關に見送

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて下さつた。私はミス・ペンロッドから拜借した外套を著、生れて初めての靴を穿いた、私の荷物は私と旅を共にすべく大人しく二つの手提鞄にをさまつてゐる。鞄は久布白さんとミス・ペンロッドから借り集めた物である。私は久布白さん守屋さん岸さん板倉さん築山さん方に送られて東京驛に向ふ道すがらも、電車の釣革につかまりながら湧き出づる涙を止むる事が出來なかつた。胸の礎を割つてほとばしる滴は兩眼に堪へて涙と凝つた。尊い涙だ、私の靈は幻影の馬に白銀の拍車をあてゝ、いさゝかのためらひもなく、過ぎ去つた過去の世界を巡り、三百里を飛んで阿蘇平原のとある墓地、ものやさしい自然の外誰一人手向けの花を捧ぐる人もなく、聞ゆるものは松の梢を渡る嵐か、夏ならばピラウド草の色の柔い小踊りの爪音の外、墓掘の聲さへ稀な父の墳墓のほとりをさまよひ、遠くて近く、近くて限りなく遠くも思はるゝ友の靈を抱き、訪ね行く見知らぬ國を廻りに廻つてゐた。

「さあ降りるのよ」と言はれた途端、幼影の馬ははたつていづこへか消えて行つた。それは私の靈の内か外かわからない。そうして私の眼前には、異樣な服裝をした自分を見てゐる多くの異樣な眼がずらりと並んでゐた。成程、私の服裝は少くも異彩を放つてゐる。外套といふのは何となく中世紀を偲ばする舊式の型で、肩から脊にかけて垂らしてある涎かけのやうなものが三重になつてゐて、其上極めて地質のよい羅紗だから重い事此上もない、靴だけは新調だが、兵隊さんの靴のやうに頑丈で靴下三枚位は平氣ではける位の大きなものである。

私は停留所から東京驛に急ぎながら、「軍人の出征の時もこういふ氣持かしら」と思つたりした。そうして、時々こみあげて來る涙をぐいと抑へて、出來る限り努めて兩側の人々に話した。只無下に悲しいのでもない、無下に嬉しいのでもない、それは、追憶の甕に秘めても置くべき人間の純な涙であらう。

東京驛は「東京」といふ都會の磁力に吸ひ寄せらるゝ無數の鐵片を何分おき宛かにバラ〳〵とはたき落

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し、拂ひ出して、江戸の中央に默然として蹲つてゐる。
構内の時計を見ると發車迄に七分。旅なれた守屋さんは凡てを心得て直に間に合はせて下さる。大急ぎで改札口を出やうとすると三四人の寫眞班が關守のやうに立ち並んで「寫さでは」といふ勢である、「もう幾度も寫りましたから」と逃げやうとしても仕方がない。斷つては却つて手間が取れる」と思つて嫌がるミス・クラゲットと相並んで影る。「ありがたう存じました」といふ聲を半ば後ろに急いで乘車場にかけつけると、其處にはあたりとは丸で別な世界の人のやうに落ついたミス・スペンサーとミス・ペンロッドが見送りの爲に來て居て下さつた。簡單な挨拶が濟むと車内に乘り込んで、さあ安心と思つて話さうとすると此時でも又寫眞班がしきりにマグネシユームをたきたてる。外の人々こそいゝ迷惑だ。此夜寫した寫眞は「矯風會のやうな仕事は醜い顔の持主がやるんです」といふやうな事を眞面目に言ふ人々の考へに裏書するに充分なものばかりだつた。あるものは四十位の人にとれ、あるものは支那人のやうにとれてゐた。年寄必ずしも醜いとは言へない、支那の婦人亦美しくないとは決して言へないけれ共、兎に角、凡ての寫眞は造物主が機嫌の惡い時に嫌々ながら創つた駄作の人間の貌である。私は一人苦笑せずにはゐられなかつた。

七時を合圖に、多くの人の多くの運命を無二無三に詰め込んだ汽車は情け容赦はない、定められた時刻に定められた線路をひた走りに走るべく蠻的な氣笛を鳴らした。萬歳の聲に威勢よく送らるゝ人もあれば、不様に泣きしやくる女學生に見送られてゐる人もある。私達二人は親切な袂れの言葉と、思ひやりの深い笑顔とに送られた。其の中には、昔十字軍が無邪氣な血を聖地に染むべく出發した時、かういふお母さんやおばさんやおばあさんに見送られたのではないかしらと思はれるやうな表情をもつた顔も二つあつた。

友の眞情と祈に抱かれて、私は東京を離れた。私にとつて友の眞情は凡ての物に優つて常に尊い。私は自分の直き隣りにどんな明暗をもつた靈が腰かけてゐる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のかさへ少しも知らないでゐた。
大地の眠りをつんざきつゝ、小さかしい汽車は轍の音高くひたすらに進んだ。そうして大空も大地も、まだ、黎明前の薄墨色に包まれて、人の子も犬の子も温い眠りに吾を忘れ、乳房を忘れ遊ぶ事を忘れてゐる時、私達は閑散とした米原驛で北陸線に乘り換へなければならなかつた。赤帽が居ないので、ボーイさんが何所からか法被を著た人を連れて來て呉れたので、辛つとの事で發車の間に合ふ事が出來た。
北陸線になると、私の隣りには堂々たる體軀に上品な面持ちをしたロシャの貴族らしい老紳士がゐる、前にもすぢ向ふにも、毛裏の外套に毛皮の帽子を冠り、しきりにロシャの話をしてゐる人達がある。其中には、私達と同樣に初めて行く人もあるらしい、何となく、未だ見ぬ大陸の姿がそうつと私の想像の中に忍び込んで來るやうなきもちがした。驛を過ぐる每に、沿道の山や畑の雪は濃くなつて行つた。
私達が敦賀に著いたのは七時卅八分だつた。ミス・クラゲットは旅劵の裏書をして貰ふ爲にロシャ領事館へ、私は、林さんに會ふべく熊谷ホテルに急いだ。宿に行つて聞いてみると「へえ、林さんはもう昨晩三時頃お著きになりました」といふ。私は應接室に通されてしばらく待つてゐた。
林さんと少しお話してゐると新聞記者が二人訪ねて來られた。其一人のお話によると、藝娼妓組合では、橫山氏の公娼制度に關する質問を早速印刷して全國の同業者に配布して、「吾等の敵は斯樣に反對運動を起しつゝあるから吾等はよろしく奮起しなければならない」といふやうな意味の奬勵をしたそうである。なるほど、アダムとエバの太古から、惡魔の敵はエホバであつた。
林さんの旅劵の裏書や、乘船の手續きは、物慣れた番頭さんに願つて、私達は二時迄に船に乘り込まなければならないので、中食をして、直に冷たい風を橫に浴びながら、車を飛ばせて波止場に向つた。其處には、寒國の緊張した港の氣分がたゞやうてゐた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初めての羽ばたき

大橋 房

大橋さんは今度青年部の働き人となつてガンレツト夫人を手傳はれる方です、婦風會と大橋さんとの關係は風俗部で論文を募集した時、多くの專門學校の男學生と競爭して男女貞操論の一文で一等賞を贏ち得た方です、此四月、戸山女學院を出られた可愛い小鳥さんです、此一文は其就任の辭といふわけで掲げました(東)

一

長い間籠の中にとぢこめられてゐた氣の弱い小鳥は、籠のめに遮られた空の靑さをどんなに慕つて居りましたでせう。破り得ぬ金網にかこまれた籠の中の狹さに氣がつくと同時に、果しない大空の高さと廣さとが憧憬れの眼をそゝのかして、哀れな小鳥は飛び上れば頭をうちさうな小さい籠のとまり木をしつかりと握つて、體中の柔い羽根をぷうッとふくらませながら、後から〳〵湧き上つて來る見果てぬ夢に、せめて心の自由を得ようとして居りました。

しかし時は終に來ました。勢よく開かれた戸口に飛び下りた小鳥は、生へそろはぬ大羽根をそうッと動かしてみました。つかひなれぬ翼はなか〳〵思ふやうには動きませんでした。彼女は燃えるやうな憧憬れの眼を靑空に向けて、パタ〳〵と力まかせに羽ばたきしました。新鮮な空氣の羽根觸りが何ともいへぬ程いゝ氣持で、彼女の瞳は喜しげに生き〳〵と輝き、彼女の胸はわく〳〵と烈しく躍るのでした。と、急に身が輕くなつたと思ふ間に、小鳥の足はもう土を離れて居りました。しかし彼女は飛んで行く先を知りません。小鳥は何だか不安になりました。心のわなゝきが羽ばたきを止めました。小鳥はよろめきながら再び土を踏みました。

二

涙ぐんだ瞳を再びあこがれの空に向けた時、小鳥は思はずも眼を見張りました。雲とも煙ともつかぬ細い白い路が目の前にはつきりと浮んできて、それが空の靑さをついて何處までも〳〵白金の糸のやうに昇つてゐるのです。途の行手は太陽の榮光の中に沒してゐるやうにも見えます。又輝く陽の中心を射り拔けて未知

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の世界に入つて行くやうにも見えます。

「何れにしても私の行くべき途は此の外にない。光り輝く途の行く手に目をとめて、たゞ一心に翔り昇つて行かう。よし途は長くとも、行きつく先は分らなくても、此の翼のつゞく限り飛んで行けばいゝのだ！……」

三

何となく頼りない心で、交りのまだ淺い方々の間に挾れて、私は神戸への初旅の途についたのでした。温情に溢れた師友い手は、巣立ちしたばかりの小鳥を長く孤獨の境に彷徨はせておきませんでした。冷酷なまでに沈みきつた氣むづかしい私が、假令暫くでも子供らしい無邪氣さに甦り、温情に充ちた奉仕の心の幾分かを續ける事の出來たのは、澤山のやさしいお母様やお姉様が、温い愛の翼の蔭にわなゝきやすい小鳥の心を抱きしめてゐて下すつたからです。新しい友を得た喜びは何物にも代へられません。組織的な會の權威は強い印象と激勵とを動搖しがちな心に與へてくれました。熱誠に燃えた祈禱團の成立は、眠つたやうな私の魂を呼び醒してくれた新しいインスピレーションでした。しかし何物にもまさつて私を動かしたものは――白金の途を選んだ小鳥を喜したものは、皆さんの投げかけて下すつた美しい好意と温情との光りでした。行末知らぬ細い途をたゞ一意翔り昇つて行く幼い小鳥は、此の光りに導かれ勵される事によつてのみ、力ない翼に鞭つてぶきような羽ばたきを續けて行くでせう。

四

澤山の可愛い小鳥は、今開かれた戸口に立つて――或ひはやがて開れんとする扉の前で、いふべからざる不安の瞳を大空に向けてゐるでせう。そこによろめきながら飛んでゆく醜い小鳥の姿が、仰ぎ見る小鳥さん達の夢を破り、希望をくぢかねばいゝがと切りに案ぜられます。愛する姉妹等よ。どうか此の哀れな小鳥の姿を見ずに、輝く白金の途の行く手を凝視めて下さい。そして若々しい元氣と希望とで此の力ない小鳥を勵して下さい。私はたゞ初めての羽ばたきの嬉しさと悲しさと苦しさとを分けてゐるあなた方の友であり又同情者なのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

平塚茅ヶ崎の三日間

みどり

東海道はよく往復いたしますが、平塚には一度も下車した事がありませんでした、幸此度同地の西森いわ子姉から來るやうにと御案内を受けましたので出掛けてまゐりました、夕陽の美しい五月廿四日輕い竹行李一つと小さいが重い印刷物を包だものとを持つてプラットホームに降りました、西森姉と高瀬姉とが「前の汽車かと思ふた」と迎へて下さいました。これが平塚の本通で東京なら銀座といふ處です、など丶案内しながら横丁に入つて新街新宿の教會につきました。小薩張りした教會堂。私には特に興味深く拜見しました、それは丁度今自分が屬してゐる東京市民教會も此位のものをと設計して居る時だつたからです、四間に五間半、講壇の位置といひ腰掛の配置、單純な裝飾といひ禮拜の氣分を充分滿足させる清潔さと落附とを具備てゐます。此二月に献堂式を擧げた許りださうです、建築費も約五千圓也、實に不思議位に私は興味を以て拜見しました、此教會堂が建設されたについて亦私が招かれた動機について非常に耳新たらしい話を牧師水野氏から伺ひました。

口英國人が風儀を亂した

平塚といふ町は此附近では一番貨物の多い驛です、漁業よりも商業の盛な町です、こ丶に火藥庫があります、今は海軍省のものになりましたが、それ前は英國のアームストロング會社直營でした。英國人の技師技手が三十人から居ました、皆設備された構内の舍宅に住んで居ました、然し妻君を同伴して居るものは僅少で殆んど一人暮しの者です、その英國人は土地の娘を妾にして圍ひ月々多いのは五十圓から少ないのでも二十圓から二十五圓と給して雇ふて自由にして居ました、酒は飲む煙草は喫ふ、全く日本の或る種の男子とちがはない生活をしてゐます、此間に私生兒は多數生れ現に十五六人は此邊に住んで居ます、生れてすぐ少額の金子を附けて田舍に貰はれて行つたものもいくら

もあります、此事實は此平塚の土地の人々に西洋人といふものが全くつまらぬものだとおもはせてしまひました。其上此土地の純朴な風儀を最も不健全なものにしてしまひました。

口一人の義人によりて

此時只一人身を以てキリストの愛と義と正とを表はした人がありました、スコツトランドの人でマツクラマントといひました。實にこれはまた見上げた紳士で眞に基督者でした、此人が常に此美普教會に禮拜に出席し共に祈り、共に働いてくれました、會堂を新設するときも心から働かれました。一人で五圓、三圓、壹圓といふ金を七百圓も集めたものです。三十有餘人の悖徳行爲を矯めん爲にどの位苦心されたか知れませんでした、此一人の義人の徳は町の心ある人々を動かし銀行商店、或は教會に縁ない個人でも献金するやうになりました。海軍省がアームストロング會社から此火藥庫を買上げると同時に英人を解雇しました、マツクライヤント氏も同じ運命に遇ひました、然し其他の三十有餘人は殆んど蓄妾して居りましたので隨分悲慘な事柄が多くありました、その婦人等の救濟が活問題となつて私共の教會に投込まれました。婦人等は總立ちになつて働く決心が出來ました。又「日本婦人の面よごし」を讀んで一段と婦人會の姉妹は奮起する覺悟が確かになつたのです。先日も憫な妾だつた婦人の一人が教會に來て「困つた事があつたら教會に行け」と言はれたから來たと述べて來ました。米國に渡つた其婦人の良人であつた人からの手紙を持參して讀んで聞かせてくれとの事です、文中自分は米國に來てから一度も酒は飲まない、飲みたくもない、あなたが正しい婦人になる事を望む、などゝいふ事がありました、其英人は大酒飲で有名だつた人です、社會の制裁の強い土地ではさすがに良心の聲が聞えて棄てた婦人にも忠告を與へる心持になつたと見えます、とにかく日本の社會が妾を蓄へたり妓に戯れたりしても恥とならぬ國、制裁のない國と思はれて居つたといふ事も云へると思ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外國に連れ行くと云ふて

平塚の町の藝妓の増加は夥たゞしいものです、遊廓もあります、此美普敎會が町の信用と人心の指針となつてゐることは旅の私にもよく解ります、是等の興味あるお話を伺ふた夜公會を會堂で開きました。私は風俗問題について思ふ處を述べました。婦人の聽衆が多數でした、七十名程集まりました。

集會後西森姉から英人の妻になつて居る婦人の一人は十七歳の時友達と二人で或る男に欺かれて、米國に連れ行つてやるからといふて廣島を出發し下車した處は此平塚で何を言ふ間もなく英人の妻にされてしまつたといふ事です。斯くの如く容易くそのやうな事が出來るものかと考へられますが、それが事實で現に其婦人の憐れな境遇を聞き相談にならねばならないといふ事も今の事なのです、實に驚くより外ありません。

日曜學校と純水館

宗敎々育は日曜學校から——、若し十年の歳月を與へられゝば今の日曜學校生徒は立派な敎會員になるのですからと、非常な希望と確信とを以て管理も訓練もまた宗敎的智識も合理的に敎育されて居る此敎會の日曜學校で、拜禮前に私は話しました。近頃にない喜びを以て話す事が出來ました。日曜學校音樂は實に大切なものです、西森姉の御骨折が充分に出て居ました。少年禁酒軍が組織されるのも決して遠い將來ではないと思ひました。日曜の午後は休息して夜は茅ヶ崎の純水舘製糸工場に講話に行きました。水野牧師が二年つゞいて毎金曜日女工さん達に講話されて居るといふことです。特に二時間を私共の爲に工場は準備して待つて下さいました。工場法案とか勞働問題とかやかましい今日、私としても非常な注意と熱心とを以て工場に入りました。

先づ私の目に映つた第一の滿足は無智にされた女工といふ一種の臭氣を其風采に止めない立派な娘さん達の一團であつた事でした。充分に自覺のある其眼ざし、其意志を表はす結んだ唇、元氣な薄紅の豊頰、心から感謝しました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

牧師から前に種々紹介された事が事實だとおもひました。女工を無智にしておく罪を深く強く憎みました、此女工さん達を見て其念が一層確になりました。

□十二時間働いた身を

如何しても人として立てる女工を作らなければならない。彼女等の要求を謹んで聞く迄に進まなければならない、と思ひました。私は眞から祈りました。そして此娘さん達に眞に忠實な友として益ある言葉を發したいと、念じました。十二時間働いた身を、勞れた顔もせず私の話を聞く爲に集まつてゐて下さるのですもの、私も本氣にならずには居られません。良心は決して他の束縛を受けるものでない、良心から決して逃れ得るものでないといふ點を私は話しました、そして純潔、酒害といふ事も、話しました。或る處の女學校で話した時でも此時ほど話しごたへを感じませんでした。職を持つて居る、働いて居る、身を立てゝ居る、國家の一員として國家に盡して居るといふ事が理解されて居る事を感じました。私は此娘さん達に一日も早く我婦人矯風會の主張する八時間勞働が實行される日の來らん事を祈りました、其爲に私はつくしたい否つくさなければならないと思ひました。女工が！といふさげすみの言葉を發する前に自覺を與へない社會を改善しなければならぬ事を忘れてはならないと思ます。

二十ある寄宿舍の部屋に一部づゝと思ふて二十冊日本婦人の面よごしを殘し歸りました、牧師が五錢袋を給介して下さいましたが近日集まつてまゐりませう。

□正義の戰に前進せよ

月曜日午前は訪問に時を用ひました、午後は婦人會の集會、此婦人會に活問題が入つた爲に大きな動きが平塚の信徒の間に起つたと伺つて居ましたから、私は心から敬意を拂つて出席いたしました。小さい婦人會と自ら卑下する事を廢して其力をも加へて正義の戰に前進して頂きたいとおもひます、會員になる事を申出られた方もありました。

三日間の平塚は實に感謝に滿ちて居ました、糾合して起つた婦人方の上に豊な神の祝福を祈ります。

夕陽に迎へられて降りた平塚を夕陽に送られて車中の人となり新鮮な胡瓜と香高きスヰトピースとを土產物に、本部に入りましたのは夜の九時でした。會頭にお話した大略を認めました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

回　本　部

祈禱團

祈禱第一回を五月二日に開く
出席者、矢島、久布白、古田
皆川、守屋、讃美の後古田姉

祈る、祈禱團の聖句を誦し後各自祈る、此日久留米支部のルニヤン夫人來會共に祈る、同姉の談によれば久留米市にも婦人ホーム或は慈愛館の支部を作りたしとのことにて上京されたる由、此の日は左の目標を立てゝ祈る。

一、大阪婦人ホーム改築の爲、
一、名古屋支部の爲、
一、木下支部の爲、
一、廣島支部の婦人ホーム事業の爲、

本部常置員會

五月五日午後二時開會、(川崎正子姉宅) 出席者矢島、小崎守屋、二階堂、皆川、宮川、木村、淺田、藤井、ガンドレット、安中、ライシャー、久布白、川崎の諸姉、讃美祈禱の後、前同記錄朗讀 可決)、報告、

一、小石川支部の解散につきて、
一、通信書記報告、
一、會頭内相訪問の報告、
一、信州旅行の報告、
一、旗の日の報告、

川崎姉の手厚き御料理を頂きまして懇談して五時散會。

慈愛理事會

五月十日午後二時本部にて開催出席者矢島、渡瀨、守屋、久布白、スペンサー、ペンロット、ワイコフ、クローソン、マコーレー、中田牧師。

議事に入る前に今日の集會の目的の説明を。ペンロット姉なす。

一、不良少女并に幼兒の保護所につきて、
一、館内にて誕生したる兒の收容につきて、
一、低能者の收容方法につきて、

中田重治牧師の意見等を聞く、凡て委員附托にて散會す。

シベリヤ委員會

五月廿一日出席者ホールス、久布白、ブラクモーア、ペンロット、守屋、前回記錄朗讀の後報告各委員より、

一、青年會より交渉ありし金の運用につきて、　(ホールス)
一、ガンタ姉と面會の件、　(久布白)
一、講演會の交渉につきて、　(ブラツクモーア)
一、會計の收支につきて、　(守屋)

守屋の祈りを以て閉會す。

回　支部通信

福岡支部

拜啓時下、益々御清榮賀し奉り候、誠に小なる當支部も主の御惠と諸姉の熱心なるお祈の中に着々發展致し居り候まゝ御喜び下され度候、少しく延引ながら四月の集會の模樣御報申上候。

女中永年勤續表彰會

四月廿四日午後二時、天神町メソヂスト教會に於て開催、深井小春姉司會にて左の順序により擧行せり。

一、讃　美　歌　(三七三)　　會　衆　一　同
二、聖書朗讀　　深　井　副支部長
三、禱　　祈　　道　滿　書　記
四、讃　美　歌　(五三)　　會　衆　一　同
五、開會の辭　　荒　川　支　部　長
六、賜狀及賞品授與　　同
七、奬　　勵　　深　井　副支部長
八、謝　　辭　　女中さん方に代はりて　末　永　姉
九、讃　美　歌　(二三五)
十、感　　話　　加藤姉ローランド姉　藤川姉
十一、祈　　禱　　加　藤　姉

五月六日(第一火曜日)午後一時より天神町メソヂスト教會に於て役員會開催。出席者七名、支部誕生記念日に就て相談し、猶は毎月の役員會は第一火曜日と定め、交際、教育、傳道、家庭、風俗の五つの部を設置する事となれり。會員一同は第三回誕生記念會を催すと共に着々進歩發展致し度く熱心に祈り求めつゝあり。

鹿兒島支部

五月五日(月)午後二時メソヂスト教會にて例會を開く、讃美聖書祈禱の後望月醫學士より醫學上研究されし食糧問題に就ての講演を與味深く承はれり、會衆卅餘人、新入會員三名、四時過ぎ散會せり。

吳支部

三月廿七日會員の母の會を開く。課長司會の下に禮拜、課長は其經驗より食料問題に就て有益なる話をなす。次で相互の料理法の事に就て語り近頃樂しき集なりき。

四月廿四日例會開催、禮拜の後支部長は大會報告をなし、會頭の壯健にて出席されし事、慈愛館の惠まれ居る事等を語り、一同感謝、尚基本金募集に就ては少しの異議なく一同奮つて働く事に決し、酒造全廢の爲にも同樣祈りと努力を以て戰ふ事に決せり。

水戸支部

四月廿六日(土)備前町教會堂にて例會を開く、支部長の司會にて拜禮に次で宇佐美姉の大會報告あり、詳細を伺ひて一同は一層主の導の下に勇進せんことを誓ふ、次に矢部、篠崎兩姉の送別會をなし午後四時閉會、出席者十五名新入會員山地、小島、岡野の三姉、

新任役員、支部長、ピンフオールド夫人、副支部長江川夫人、記錄書記宇佐美姉、通信書記平川梅子、會計加藤木夫人、傳道部長大久保姉教育部長ミス・シャープレス。

五月十日(土)午後二時より泉町バプテスト教會に於て家庭部主催の下に例會、禮拜の後事務に移る。

一、熱心に祈禱團を設くる事(例會の始め廿分を此の爲に宛つる事にし、缺席者も其の時間は何處にあつても守るべきことに決せり)。

一、各部主催の時々により部長及び其の部の人々は役員會に出席して相談する事。

右の二件一同贊成を以て可決さる。

次に中村牧師は米國中流婦人の家庭に於ける活動振を話され、ミス・シャープレスは米國の禁酒に就て話されたり。實に禁酒の實現には婦人の力與りて力あるものなれば吾等の責任は益々大なるを思ふ。

牛込支部

五月廿九日午後二時より松宮しん子姉方にて例會を開く、司會者松宮しん子、讃美聖書朗讀、葛岡ゆか子姉の開會の祈禱次に、報告、議事に移り、數項を議決し、役員を選定す。新入會員六名を紹介したる後、當日特に當支部の爲に御來會下されし小崎副會頭、神戸に催されし第廿七回大會の狀況及び本年の重大決議及び本部の活動狀態等に就て熱心に述べられ、力ある種々の奬勵を與へられたり。一同は大に勵まされたり。澤木糸子姉の閉會の祈を以て一先づ閉會し、茶菓を喫しつゝ樂しく懇談し五時散會せり。出席者九名。

新任役員、支部長松宮しん子、書記澤木糸子會計葛岡ゆか子、財務部長原島つた子。

(澤木姉報)

廣島支部

神は諸愛姉の熱烈なる御加禱に答へ給ひ當支部婦人ホーム設立を許し給ひました。警察署及各新聞社は兩手を擧げて御盡力下さいました、會員一同益々力を盡し維持金募集の第一着として市公會堂に於て慈善大音樂會を開催いたしまするに決し趣意書併に規則プログラム入場券等三千枚宛印刷し、當支部會員總出にて目下働いて居ます、寄附金募集は多辻副支部長に委任し着々成功し神の榮を拜して居ります、諸姉の御加禱を願ふ。(松山)

堺支部

四月六日神戸の大會に出席された守屋先生に御出を願ひ、堺キリスト教會で少年少女禁酒軍の大會を開きました、定刻前から二百餘の可愛軍人達は嬉々として集ひました、松本書記の司會のもとに讃美祈禱を以て始め司會者の挨拶の後、守屋先生は壇上に立たれ面白い表情とたつぷりしたお聲を以て種々のお話をなさいました、また禁酒の歌をお教になりました、席に居る大人も今日ばかりは小供になつて大聲出して歌ひ樂しい會合は終りました、閉會後本會員は別室に於て先生及び御同伴の吳支部長十時姉、宮川姉と共に種々打ちとけてお話をしました。

大阪支部

當支部社會部の事業として經營せる大阪婦人ホームは此度改築の急に迫り、五月廿八日婦人ホーム滿十二年記念日に於て告別式を開く來會者會員並に新聞記者等合せて六十有餘名、二宮わさ子姉司會にて讃美三百七十五 合唱の後、清水種子姉の聖書朗讀あり、名出日立子姉の祈、錦織くら子姉ホームの沿革を朗讀、青年部有志の告別の歌あり、次に中村久榮姉の寄附金報告について、林支部長は矯風會過去二十年間並ホーム十二年間を回顧して奬勵を與へ、數分間默禱、河邊栁子姉の祈禱にて一先づ會を閉ず茶菓の饗應ありて懇談數時、五時半惑の中に散會す。(通信書記報)

Serious illnesses must not be overlooked. Acute infectious diseases in the early months of a child's life may require many months or years to overcome their effect.

Most prominent among causes of malnutrition is bad hygiene and improper diet. Bad habits of living are easily acquired. They include every phase of the daily life of the child. A large proportion of children, especially children of the poor, receive insufficient food. A breakfast consisting of roll and coffee, a lunch of weak tea, soup and bread, and a dinner of meat and potatoes and a dish of macaroni furnishes about one-third to one-half the necessary number of calories the growing child should have.

Strange as it may seem, this is a diet many children are given, and nothing could be more pernicious than the use of either tea or coffee. Many children go to school without breakfast or go to school without any lunch. Such improper foods as tea and coffee and fried foods of all kinds, pies, pastries, cakes, sweets and raw fruits in excess or too much meat two or three times a day are some of the very serious errors which were discovered in a study of these undernourished children.

The pernicious habit of eating too fast, or washing down food with copious draughts of water, eating at irregular hours, all tend to produce indigestion and prevent the proper assimilation of food. Constipation and the irregular bowel habit are found to be almost universal among undernourished children. Unless normal habits can be established, it is practically impossible to make a child gain in weight.

Insufficient sleep causes malnutrition. This may appear ridiculous to some of you, but many children are allowed to sit up until nine, ten and eleven o'clock at night. The undernourished child should have long hours of rest at night, and in addition a nap of an hour or preferably two hours immediately after lunch.

Insufficient air, not only by day, but by night, is also a common cause of malnutrition. Long school hours and short days mean that no school child can be out of doors more than an hour through the winter months. The windows in schools and homes are rarely opened, and the children are often allowed to sleep at night with the windows closed tightly. These are combinations which are almost sure to lead to infections of the nose or throat, or even of the lungs.

Uncleanliness is a cause which is often overlooked. The unclean mouths and noses have a more direct influence on the general health than does a dirty soin, and every mother knows that bathing predisposes to health.

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Undernourished Children

I give you here a chart which hangs in one of the rooms at the Vanderbilt clinic.

What Makes a Child Lose

Food—Too Little
Wrong Kind—Tea, Coffee
Fried Food
Eating too Fast
Sleeping to Little
Resting too Little
Stale Air—Closed Windows
Constipation or Irregular Bowels
Dirty Hands and Face, Body, Clothes
Bad Teeth

What Makes a Child Gain

Food—Right Amount
Right Kind
Eating Slowly
Sleeping Enough, 7 P.M. to 7 A.M.
Resting One Hour After Dinner
Fresh Air—Open Windows
Bowel Movement After Breakfast
Cleanliness
Good Teeth

The mother who has to deal with the problem of the undernourished child has to keep in mind a few important facts.

First, tuberculosis must be thought of because tuberculosis can be present without giving rise to any marked symptoms or signs. It is not a tuberculosis which affects the lungs, but a tuberculosis that gets into the little lymph glands of the neck and probably down into the glands of the chest. The only sign that a child may give of the presence of tuberculosis is malnutrition, and if your physician will make the proper Von Pirquet skin test, its presence can be detected at once. In a child that is running an irregular temperature, tuberculosis must always be thought of and the physician should never fail to make the necessary skin test.

Another common cause of malnutrition is found to be the poison which is absorbed into the system from decayed teeth or infected tonsils, or some chronic catarrhal infection in the nose. This is a condition that can be corrected easily. Suspicious tonsils should be removed and decayed teeth given the proper attention.

It is an interesting fact that defective nasal breathing, where there is found to be enlarged adenoids, or some obstruction to the obtaining of proper air through the nose, is a common cause of undernourishment. The premature baby, or the baby small sized at birth, or the baby who has had a stormy first year, where it has been difficult to find the proper food, often is found to show symptoms of malnutrition for two or three years afterwards. Severe and repeated attacks of indigestion, especially where there has been chronic intestinal indigestion with attacks of vomiting, almost always result ih an undernourished child.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察―毎朝毎夕（但祭日及日曜の他）

院長診察月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副院長は目下當院に在勤

東京麹町區三番町三十番地（市ヶ谷見附内）

電話六二番
番町五一六番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副院長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後入院診後應需

診察―毎日午後但祭日及日曜の他

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第二百六十二號（第三種郵便物認可）（毎月一回十日發行）（本誌一部定價金九錢）

ライオン歯磨

お母様方へ！

可愛いお子様の口中は時時見ておあげなさい。そして、齲歯に罹り始めた歯がありましたら、直ぐに治療をしなければなりません。なほ毎日、朝と晩とには、必ず專門歯科醫の推賞するライオン歯磨をお使はせになり、口中を清潔にする事が大切であります。

ライオン歯磨
ライオン石鹸
東京市本所區外手町
本舗 株式會社 小林商店
支店 大阪市東區備後町二丁目
名古屋市中區西魚町四丁目
上海 香港 天津 ……